

医療法人 輝栄会 福岡輝栄会病院 広報誌

かかやま

kagayaki

冬号

2023/Winter

特集

SCU～限らないケアの可能性～

脳神経・脊髄疾患治療部本部長 鈴木聡 医師 インタビュー

リハビリ科による脳トレ体操

近隣の医療機関のご紹介



医療法人輝栄会

福岡輝栄会病院

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください



SCU～限らないケアの可能性～

時間とともに進む脳卒中治療の革新



副院長

鈴木 聡

脳神経・脊髄疾患治療部部长
脳神経外科部長

鈴木聡 医師 インタビュー

一先日行われた西日本新聞社主催の脳活新聞フェアの講演では、「脳卒中は発症後できるだけ早期に治療する必要がある」とお話されていました。この点について聞かせてください。

どのタイプの脳卒中でも早いタイミングでの専門医受診が望ましいのですが、その中でも脳梗塞は時間との勝負です。脳梗塞治療においては、発症から一定の時間内に限って行うことができる画期的な治療法が開発されてきています。まず、「アルテプラゼ静注療法」。「アルテプラゼ」という、血栓を溶かす薬を静脈内に点滴投与する治療法です。合併症として頭蓋内

外に出血を起こすことがあり、何もしなかった場合に比べて死亡率が若干高くなります。しかし劇的に改善することも多く、日常生活に支障を来すような後遺症を残す事なくご自宅に退院できる人が増えます。この方法は脳卒中になってから、4.5時間以内に限って行うことが出来ます。ここで言う「脳卒中になった時間」(発症時間)ですが、誰かが見ている目の前で倒れた場合を除き、よく分からないことがよくあります。そのようなときは「最後にいつも通りであったことが確認された時間」を発症時間とします。ですから夜9時に寝るときには何もなかった方が

朝6時に目を覚ましたら脳卒中になっていた場合(このような脳卒中を「ウェイク・アップ・ストローク」といいます)、気がついた朝6時ではなく、最後に何もなかったことが確認されている夜9時を発症時間とします。これまではアルテプラゼ静注療法の対象外になっていましたが、最近ルールが変わりました。「ウェイク・アップ・ストローク」の場合、MRIによる画像診断で一定の条件を満たせば、4.5時間以上経っていても「アルテプラゼ静注療法」を行うことが可能になりました。

福岡輝栄会病院では、2014年4月1日より脳卒中センター長として鈴木聡医師が赴任。
2020年4月1日からは脳神経・脊髄疾患治療部として新たなスタートを切りました。
そして2023年11月1日からは待望の「SCU(ストローク・ケア・ユニット)脳卒中ケアユニット」が開設されました。
脳神経・脊髄疾患治療部の鈴木聡本部長に、福岡輝栄会病院での脳卒中診療の特徴や、
力を入れている治療法、今後の展望について伺いました。

それからもう一つは「経皮的
血栓回収療法」です。股のところ
にある大腿動脈からカテーテル
を挿入し、病変部に至ります。
「ステント」という、筒状の金網
で血栓を絡め取ったり、掃除機
みたいに太めのカテーテルで血
栓を吸引したりする方法があり
ます。この方法は、原則として発
症から8時間以内に限って施行
してもよい事になっています。し
かし条件が揃えば、24時間まで
延長されます。また、「エダラボ
ン」は日本で開発されたフリー
ラジカル・スカベンジャー(脳梗
塞の際に発生する活性酸素をつ
かまえて活性をなくすことによ
り、周囲脳組織のダメージを最
小限に抑える薬)ですが、発症
24時間以内に限って使用するこ
とが出来ます。2-3日経ってから
来院されても出来ることはごく
限られてしまいます。早い時期
に来れば来るほど、色々と治療
の手立てがありますので、時間
との勝負ということになります。
それでは時間が経ってから来院
しても無駄だから専門医を受診
する必要がないのかと言うとそ
うではありません。確かに急性
期の治療は時間との勝負です
が、脳卒中は放っておけば再発
します。再発予防のためには専
門医受診が必須です。

時間で治療の選択肢が大きく
変わるということですね。



「頭が痛い」「めまいがする」な
ど、全てが脳卒中ではないけれ
ども、中には脳卒中患者さんが
含まれている症状があります
ね。時間内であれば脳卒中セン
ターの医師に相談すれば良いの
でしょうが、休日や時間外であっ
てもそういった患者様を早期に
診察するためには、病院側の体
制整備も重要だと思います。今
回はその為に「SCU」を設立さ
れたということでしょうか？

そうですね。「SCU」は脳卒
中の患者さんを診る専用の病
床で、厚生局の認可を得て始め
て開設できます。認可の条件と
して「脳卒中専門医が24時間
365日病院内で待機する」とい
う項目があります。今までも時
間外や休日はオン・コール体制
を取り、必要時には専門医が診
療出来る体制をとってしまし
た。しかしオン・コール体制だ
と、まず当直医が診察し、それ
から自宅で待機している脳卒中

専門医をオン・コールで呼び出
すことになります。脳卒中専門
医を呼び出すかどうか当直医が
迷うことも多々ありました。しか
しSCUがある病院では、脳卒中
専門医が常に院内で待機してい
るわけですから、外来患者さん、
入院患者さんを問わず当直医は
すぐに専門医に相談することが
出来ます。そして何よりも治療開
始までの時間が短縮できます。

—SCUについてもう少し伺い
できればと思うのですが、脳疾
患の中でもこういった方が入ら
れるのでしょうか？

SCUの対象となるのは、脳梗
塞、脳出血、脳動脈瘤破裂によ
るくも膜下出血など、脳卒中急
性期の患者さんに限られます。
同じくくも膜下出血でも、外傷性く
も膜下出血は脳卒中ではありま
せんので、対象外です。また、脳
腫瘍など他の脳神経疾患の方も
対象外です。

—SCUに入られた方は、急性期の治療が終わった後はどうなるのですか？

SCUにいたことが出来るのは最大14日間です。必要度の高い方を優先的にSCUで診ますので、実際にSCUで診るのは数日間ということになります。その後は一般病棟に移って治療を継続します。さらにその後はリハビリテーションを行うための回復期リハビリテーション病棟や、地域包括ケア病棟、医療療養病棟などに移ります。福岡輝栄会病院はケアミックス型病院といって、一般病棟（急性期の病棟）だけではなく、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟があります。ですから、リハビリテーションのために転院する必要もなく、急性期治療からリハビリテーションまで福岡輝栄会病院で続けて行うことができるということも大きなメリットだと思います。

—他院に転院することなく、一貫して発症からリハビリまで当院でできるということですか？

そうですね。もちろん、よその病院に行ってはいけないという意味ではありません。家か

ら近い、今までかかりつけであった、他のご家族が入院しているなど、ご希望があれば他の病院を紹介しています。

—SCU設立にあたって、九州大学脳神経外科から多大なご協力いただいていると伺っています。どのような体制を取られたのでしょうか？

当院脳卒中センターで急性期治療に当たっている常勤医は5人です。働き方改革が2024年から施行される中で、5人の医師だけでSCUの日当直をこなすのには無理があります。2016年以降、当院脳神経外科は九州大学脳神経外科の関連施設として、人事の交流を続けています。そこで、九州大学脳神経外科吉本幸司教授のご支援のもと、医局から医師の派遣をいただき、SCU日当直が無理なくカバーできる体制をとることが出来ました。

—先日の脳活新聞フェアでは、脳疾患を抱えている患者様だけではなく、介護に直面した患者様、家族へのお話などもありました。どのような支援体制をとっておられるのでしょうか？

入院中は、当院地域医療連

携室のスタッフが、患者さん・ご家族のサポートにあたっています。退院後もサポートが必要になりそうな方々については、入院中から患者さん・ご家族を交えて多職種で集まってカンファレンスを開きます。ご本人やご家族のご希望を伺った上で退院後のサポート体制を十分に整え、それから退院していただくようにしています。退院後のサポートは地域のケアマネージャーが中心となって行いますので、入院中からケアマネージャーと密に連絡を取り、情報を共有するようにしています。

それから、当院は日本脳卒中学会から一次脳卒中センターとして認定されています。今のところ一次脳卒中センターには開設義務はないのですが、「脳卒中相談窓口」の開設準備を行っています。「脳卒中相談窓口」が開設されると、より気軽に脳卒中の患者さん、そしてご家族が相談していただく事が出来るかと思います。今後は一次脳卒中センターコア、包括的脳卒中センターとしての認定を受けることが出来るよう、準備を進めてゆきたいと考えております。

全国で170万人を超える患者が存在する「脳卒中」。「脳卒中」には脳の血管が詰まる「脳梗塞」、脳の細い血管が破れる「脳出血」、そして脳血管にできた動脈瘤が破裂する「くも膜下出血」などがあります。高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病によって引き起こされる動脈硬化が一番の原因です。



SCU・脳卒中センターは、
医師のみでなく看護師や
リハビリテーションスタッフ、
管理栄養士、ソーシャルワーカーなど
多くのメンバーで構成



一先ほどお話されていましたが、脳卒中の予防はできるのですか？

脳卒中になるのは、若い頃から危険因子をそのままにしていた方々が大部分です。危険因子とは、高血圧症、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病のほか、運動不足、肥満、睡眠不足、お酒の飲み過ぎ、喫煙などあります。脳卒中の予防

とは、この危険因子を取り除くことにほかなりません。もちろん、危険因子をすべて取り除いたからといって、脳卒中発症が「ゼロ」となるわけではありません。しかし危険因子に対処することによって、脳卒中になるリスクを減らすことが出来ますし、万が一脳卒中になった時も軽症で済みます。心筋梗塞や心不全といった循

環器病の危険因子も、脳卒中の危険因子とかなり重なり合っています。脳卒中の予防は心臓病の予防にもなります。繰り返しになりますが、脳卒中はなってから慌てるのではなく、予防が一番大切。そして万が一脳卒中になったときは一刻も早く専門医を受診することが大切です。

九州大学 脳神経外科

吉本 幸司 教授インタビュー

本日は九州大学脳神経外科の吉本教授にお越しいただいております。

吉本先生 はい、こんにちは。吉本教授、九州大学脳神経外科は福岡輝栄会病院脳神経外科と密接な関係にあるとお伺いしています。

吉本先生 福岡輝栄会病院脳神経外科は九州大学脳神経外科の関連施設であり、常勤の先生たちは九州大学脳神経外科の出身です。その他、医局の医師を人事交流という形で定期的に派遣しています。てんかんなど専門性の高い分野でも診療サポートを行っています。また、様々な病気に関して、病

院によってそれぞれ得意な分野があります。難しい脳腫瘍の患者さんや難治性てんかんの患者さんなどが輝栄会を受診された際には、九州大学病院をご紹介いただき、責任を持って治療しています。輝栄会で難しい治療を行うときや人手が足りないときは九州大学病院のスタッフが応援に駆けつけることもあります。一方手術後のリハビリテーションを含めた治療を福岡輝栄会病院に依頼したりしています。

ありがとうございます。今回、福岡輝栄会病院のSCUを設立にも大変ご協力いただいていると伺っております。



吉本先生 はい、SCUを開設するにあたって、24時間365日の受け入れ体制を整える必要があります。その一方で時間外勤務を厳しく制限する「働き方改革」の問題もあります。常勤スタッフだけではSCUの運営には無理があります。九州大学病院から脳神経科外科専門医を派遣することで、SCUの運営をしっかりサポートしています。今後も継続していく予定です。ありがとうございました。



リハビリ科による 脳トレ体操



脳トレとは、「脳力トレーニング」の略で、認知機能を改善し、記憶力や集中力などを鍛えるトレーニングのことです。

主に、事故や病気で脳にダメージを受けた人や精神疾患の患者さんを対象に実施されています。

脳トレは、脳を活性化させ、認知機能の低下を防ぐ効果が期待できることから、

多くの高齢者施設で取り入れられています。

脳トレの種類は数え切れないほどあり、クイズ的なものから体操のように体を使うものまであります。

脳トレのメリットは次のとおりです

1

認知機能を改善する

2

記憶力や集中力を鍛える

3

脳内の血流を促進する

4

脳の老化スピードを遅くする

5

ひらめきや感性、想像力を磨く

レッスン
スタート!!

レッスン
1



1 右手を「1」にして、
左手を「グー」に

2 右手を「グー」にして、
左手を「2」に

3 右手を「3」にして、
左手を「グー」に

4 右手を「グー」にして、
左手を「4」に

5 右手を「5」にして、
左手を「グー」に

レッスン
2



1 右手を「1」にして、
左手を「5」に

2 右手を「2」にして、
左手を「4」に

3 右手を「3」にして、
左手も「3」に

4 右手を「4」にして、
左手を「2」に

5 右手を「5」にして、
左手を「1」に

レッスン
3



1 右手を「グー」にして、
左手を「パー」に

2 右手を「チョキ」にして、
左手を「グー」に

3 右手を「パー」にして、
左手を「チョキ」に

この脳トレを1日2回行う事で脳を活性化させてきましょう!

近隣の医療機関のご紹介

NEW
OPEN

かしいはま内科・内視鏡クリニック

2023年9月1日に「かしいはま内科・内視鏡クリニック」を開院いたしました。

一般的な内科診療の他、上・下部内視鏡検査を行っており、下部内視鏡検査中に発見した大腸ポリープも積極的に切除しています。内視鏡検査に苦手意識をもたないことが大切であり、今までの経験を基にして、準備、検査、鎮静法、リカバリーの方法を工夫し、苦痛なく検査・処置が行えるように努めています。思いやりを持って患者さんに対応することをスタッフ一同心がけておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



院長 木下 展克 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	/
15:00~18:00	○	○	○	/	○	○	/

休診日

木曜日・日曜日・祝日

※最終受付は
午前診療11:30、
午後診療17:30まで

〒813-0016 福岡県福岡市東区香椎浜2丁目8番26-2 TEL: **092-661-8533**

NEW
OPEN

みつたけ整形外科スポーツ・リハビリ クリニック

はじめまして。みつたけ整形外科スポーツ・リハビリクリニックです。2023年9月に香椎浜で開院しました。「医療を通して地域を笑顔に」をモットーに診療しております。私はこれまで子供の緊急手術や骨盤外傷など外傷手術を中心に3000例以上の手術執刀をしてきました。これからはこれらの経験をもとに、地域の皆さまに寄り添った優しい丁寧な診療をお約束いたします。骨粗鬆症や肩や腰など関節の日々の不調、日常生活での痛み、健康への悩み、幅広く対応しております。最新のリハビリ機器やレントゲンを用いて治療致します。スポーツ外来では専門的なリハビリを実施し、怪我からの早期復帰や怪我の予防に取り組んでいます。お気軽にお越しください。



院長 光武 慎一郎 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	/	○	/
15:00~19:00	○	○	○	○	○	/	/

休診日

日曜日・祝日

〒813-0016 福岡県福岡市東区香椎浜4丁目8番2号 TEL: **092-692-8448**

医療情報共有アプリ「NOBORI」導入

福岡輝栄会病院では、画像や検査結果、お薬などの医療情報をスマートフォンアプリを使っていつでもご覧いただけるサービスを開始します。



NOBORI



「NOBORI」でできること

自分の健康を自分で管理する

提携医療機関から提供された画像や検査結果、薬などの医療情報をスマートフォンで、いつでも見ることができます。

画像検査・血液検査等の結果、お薬の情報や、健康診断・人間ドックの判定や総合判定、画像などを時系列に見ることができます。検査結果はグラフ表示もできるので、ご自身で経過の確認ができます。

他の医師に、検査結果や画像を診てもらう

救急時や災害時・旅行・転居等により、他の医療機関で診察を受ける場合にも、より継続性のある医療サービスを受けることができます。また処方されている薬の情報がいつでも確認できるので、他の病院にかかった際も安心です。



家族と共有する



医療情報は、ご家族と共有したり、お子様の情報を管理することにより、家族みんなの健康管理にも役立ちます。場所にとらわれないので、遠方に住むご家族とも健康情報を共有することができます。離れていても、リアルタイムで情報が共有されるので安心です。

また、診察中に疑問に思ったことや、家族に共有したいこともスマートフォンに記録し後日確認できます。

NOBORIの詳細情報は
<https://nabori.me/>をご覧ください。



交通アクセス

□JRご利用の方

鹿児島本線千早駅下車:徒歩約5分

□西鉄電車・地下鉄ご利用の方

貝塚線千早駅下車:徒歩約5分

□西鉄バスご利用の方

千早駅前バス停[1,2,3,4]下車:徒歩5分

千早並木通り沿い 千早バス停[21,23,23-1,26,27]
下車:徒歩約3分

三号線沿い 東消防署前バス停[4,4-3]
下車:徒歩約1分



医療法人輝栄会

福岡輝栄会病院

〒813-0044
福岡市東区千早4丁目14-40

TEL 092-681-3115 (代表) FAX 092-681-3972



<https://www.kieikai.ne.jp/>

輝栄会病院

検索



当院ホームページ



公式Instagram



公式LINEアカウント